



■昨年、天才棋士と称される藤井颯太四段が、30年ぶりにプロ公式戦デビューからの連勝記録を塗り替える史上初29連勝を達成したことは、まだ記憶に新しい。まだ、プロになって一年足らず、その将棋の強さもさることながら14歳とは思えぬ語彙力ごいにも注目が集まっている。「実力からすると、望外の結果です」これは、彼が11連勝を達成した時にインタビューで答えた一言である。言葉の意味は、望んでいたこと以上に結構なことや思いのほかということである。彼の言葉からすると、「今の自分の力からすると予想をはるかに超えた良い結果だった」ということだろう。自分がこうあってほしい、こうなった良いなどの願いが超えたときのことを言う。「想像以上にうれしい」「予想を超えた喜び」という表現よりもワンランク上の言葉だと感じる。望んでいたこと以上に結構なことを考えれば、裏を返すと「そこまでは望んでいなかった」という謙虚な姿勢も伝わってくる。また、別の言葉で藤井四段は「僥倖ぎょうこう」と表現している。偶然の幸運という意味を持つ。「私のように未熟者が〇〇できたのは僥倖としか言いようがない」「奇跡としか言いようがない僥倖に恵まれた」などと用いる。大きな喜びや慎みつつしみ深さを同時に伝える奥深さ、ここぞという時に使ってみたい言葉である。週末は、センター試験。高校受験も間もなくスタート！テストシーズンの始まりである。自信を持って受けるも謙虚に受けるも、その結果は「嬉しい」に越したことはない。こんな言葉を使った報告を聞きたいものだ。2018.1.10